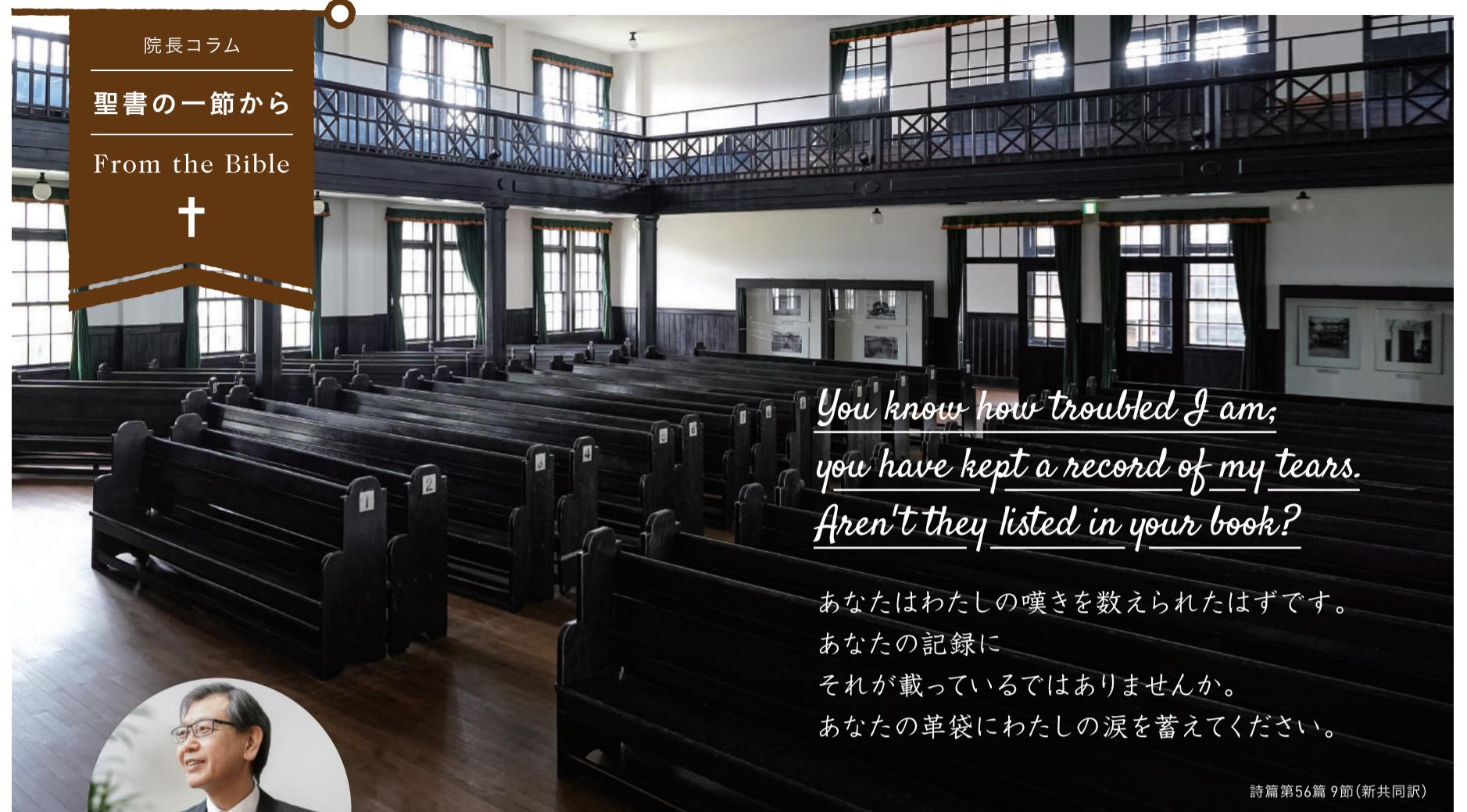




西南学院 院長
いまい なおき
今井 尚生



School Organization Chart

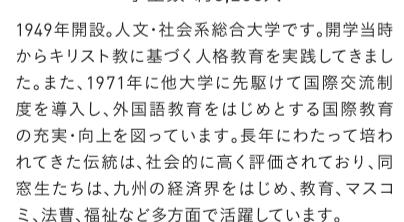
1万人を超える学生、生徒、児童、園児が通う西南学院。

西南学院は、保育所・幼稚園から大学・大学院までを擁する全国でも数少ない総合学園です。
保育所から大学院まで一貫した理念に基づいて、保育、教育を実施しています。※データは2022年8月現在



西南学院大学

学生数:約8,200人



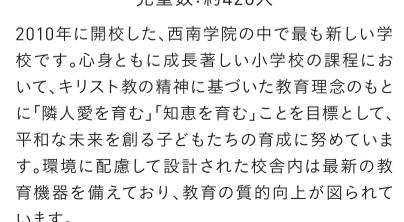
西南学院中学校・高等学校

【高等学校】生徒数:約1,300人



西南学院小学校

児童数:約420人



西南学院舞鶴幼稚園

園児数:約170人



西南学院早緑子供の園(保育所)

園児数:約100人

福岡市内で最も歴史のあるキリスト教主義の幼稚園です。「心ゆたでたくましいひかりの」を目指して、太陽と土と水と緑に触れる感性豊かに育ち合う子どもたちを育成しています。一人ひとりの気持ちをくみ取ることができるように、各クラスを複数担任で受け持っています。思いやりの心を培ながら、個性豊かにのびのびと生きていく力を育む保育を実践しています。

Vol. 11

October 5, 2022

赤煉瓦通信

~一粒の麦から~

2022年10月5日発行(年2回発行)
学校法人西南学院 総合企画部 広報・校友課
〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92
TEL.092-823-3248
koho@seinan-gu.ac.jp

【“一粒の麦”について】

「一粒の麦」は、イエス・キリストが言われた「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒の麦のままである。だが、死ねば、多くの麦を結ぶ」と語源としたものです。広い世界の中で、西南学院は「一粒の麦」であり、西南学院で学ぶ一人ひとりもまた「一粒の麦」と言えます。「一粒の麦」が持つ可能性を信じ、社会のために尽くしていくことを創立者の想いであり、今もなお大切に受け継がれています。

西南学院

<https://www.seinan-gakuin.jp>
西南学院大学・大学院
西南学院中学校・高等学校
西南学院小学校
西南学院舞鶴幼稚園
西南学院早緑子供の園(保育所)



西南学院

[特集]

西南学院と平和

2022年、私たちはコロナ禍にあって、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が起こり、世界のつながりや平和について考えさせられる年になりました。今、私たちは何を思い、何ができるのでしょうか。西南学院の大学・各学校・園・保育所でも平和について考える時間がありました。

**西南学院大学
国際交流ボランティア**

海外の大学生と共に戦争体験者との話を聞くことで戦争と平和について考える

西南学院大学では、2022年春、アメリカのペイラー大学において開講された「平和について考える」という授業でアメリカの学生と協働する国際交流ボランティアを実施しました。主な内容は、ペイラー大学の学生とオンラインミーティングをし、戦争体験者への取材を行い、インタビュー映像を作成するというもの。

ボランティアに参加した重富咲妃さんと岡本彩花さんは経験を振り返り、重富さんは、「戦争は、人々の暮らしだけでなく、国の基盤を支える教育の在り方や、人々の思想にも大きな影響を与えるのだと知りました。体験者のお話を聞いてみると、数十年前の出来事も今起きていることのように感じられた」と話し、「戦争を過去のこと、他国のことと捉えず、常に共感を持って考える必要があることを実感した」とコメント。また岡本さんは、「ボランティア参加後、平和への貢献の仕方が変わった」と振り返り、「家族や友人と、戦争や平和について話したり、SNSを通じて平和への思いを発信したりするだけでも第一歩を感じた」と言います。2人が共通して学び得たのは、当事者視点で「自分だったらどうする」と考える姿勢と、自分とは違うさまざまなバックグラウンドを持った人の立場に立てる姿勢の両方が不可欠だということ。ボランティアに参加した2人にとって、多くの人と戦争や平和についての議論を交わし、考える貴重な機会になりました。

西南学院大学 西南学院大学 文部省英文学科4年 岡本彩花さん

西南学院大学 外国語学部外国語学科3年 重富咲妃さん

取り組んだ内容や得られた学びを大学のチャペルアワーで報告

ウクライナにおける平和回復への願い

キリスト教を教育の根幹とする西南学院は、教育理念として「真理を探求し、平和を創り出す人間の育成」を掲げており、2016年の創立100周年にあたって公表した平和宣言においても、西南学院で学ぶ者たちや教職員は国際社会の真の一員となり、「平和を実現する人々」の祝福の中に生きる者となる決意を表明しています。

その理念のもとに集う者にとって、現在ウクライナの地で起きている惨事を見過ごすことはできません。侵攻と破壊による嘆き苦しみの中にある人々およびこの惨事に巻き込まれて苦しむ全ての人々の心に寄り添う者でありたいと願っています。そして、戦争という暴力による解決ではなく、対話による平和的な解決が可及的速やかにされるよう強く望みます。一日も早くウクライナに平和が戻ることを願い、学院一同、心を合わせて祈ります。

西南学院 院長 今井 尚生

**西南学院中学校・高等学校
韓国への旅&韓国からの旅**

友だちがいる国と戦争をしたいと思う人はいません 草の根レベルでの平和構築を

「近くで遠い国」といわれてきたお隣の国、韓国。戦後60年の節目となった2005年に、日韓の若い世代が互いに知り合い、歴史・平和を共に学ぶ機会をと願って、韓国の大邱中央教会(忠清南道天安市)との共同平和研修「韓国への旅&韓国からの旅」を始めました。

西南学院中学校・高等学校の生徒と、韓国の中高生が隔年でお互いの国を訪ね、迎えます。ホームステイと教会での礼拝出席体験をベースに、さまざまなイベントを通じて交流を重ねてきました。ホストファミリーのご家庭で韓国の食や文化に触れ、韓国の生徒を迎えて日本・福岡を感じてもらいました。これまで、たくさんのご家庭に協力していただきました。また、戦争の記録を今に伝える長崎原爆資料館や岡山さはる記念長崎平和資料館、独立記念館などへ出かけて共に平和の大切さについて考えます。両国の中間には過去に不幸な時代がありました。かつての悲しい出来事が社会や人々の中などでどのように記憶されているのかを実際に自分の目や耳を使って感じ、過ちを繰り返してはならないことを心に刻むこと、何より、この旅で出会う人々と友だちになって、親交を深めてほしいと願っています。お互いに相手のことを知りたいという気持ちさえあれば、言葉はよく分からなくとも通じ合えます。最初の交流から17年がたちますが、個人的に再訪したり、韓国での結婚式に招待を受けたり、招いたり、プログラムの後、大人になつても絆を大切にし続けているメンバーも少なくありません。

残念ながら2020年、2021年はコロナ拡大の影響で、ビデオレターによる交流となりましたが、近いうちに直接的な交流を再開できることを切に願っています。こうした交流を継続していくことが草の根レベルでの平和創りにつながると信じて、息長く取り組んでいきたいと思います。

香月 光さん(高2)

木村 陽菜さん(高3)

井上 陽都さん(高3)

永野 遥香さん(高3)

野田 桃子さん(高3)

亀崎 和楽さん(高3)

香椎 菜沙さん(高3)

お互いを知る、友だちになることが、平和への小さな一歩に /

香月 光さん(高2)

韓国では同世代でも平和について真剣に考える人が多いと感じました。一方で日本のアニメが大好きだったり、日本語が堪能だったりすることにも驚かれ、韓国という国に親近感を覚えました。

木村 陽菜さん(高3)

現地で出会った方々はフレンドリーで、すぐに友だちになりました。知識として学ぶ韓国と、実際に体験する韓国は、全然違います。皆さんも「韓国への旅」をぜひ体験してほしいと思います。

井上 陽都さん(高3)

韓国で出会った皆さんとの、相手のことを知ろうとする姿にとても感動し、もっと交流を深めたいと思いました。今もずっと連絡を取り合っているような韓国の方たちができたことがうれしいです。

永野 遥香さん(高3)

韓国から来た皆さんを連れて、天神の街を案内しました。言葉は話せなくとも身ぶり手ぶりで十分通じ合え、言葉の違いは関係ないと感じました。韓国について、もっと知りたくなりました。

野田 桃子さん(高3)

韓国から来た皆さんと一緒に、天神の街を案内しました。言葉は話せなくとも身ぶり手ぶりで十分通じ合え、言葉の違いは関係ないと感じました。韓国について、もっと知りたくなりました。



亀崎 和楽さん(高3)

「韓国への旅」を経験してからは、韓国語も勉強して、今では向こうに行つたときに困らないくらい、話せるようになりました。ちゃんと1対1で話をしならば「平和に近づける」と感じています。

香椎 菜沙さん(高3)

ホームステイ先のご家庭はとても優しく、手作りの韓国料理で歓迎してくれ、お父さんは日本語も話していました。國が違っても人を思う気持ちは変わらない感じることができたことが収穫でした。

**西南学院小学校
平和教育**

平和教育を日常に 常に愛とは平和とは何かと 意識する日々をつくる

毎日のチャペルの時間だけでなく、戦争や平和をテーマにした教材を通して、
平和を祈り、平和を創り出すための種をまいています。

授業の終わりには、それぞれ学んだことをまとめ、みんなで意見を交換

8.6, 8.9 原爆投下の日 平和めあて
広島や長崎におおられた原爆についていのちの大切さと平和について考えよう。
○ 広島 1945.8.6 8:15
○ 長崎 1945.8.9 11:03
8.15 終戦

早い春のことではなく、自分ごととして捉え命の大切さや平和について考える機会に

西南学院小学校は、「Love(人類愛)」「Liberty(自由)」「Life(生命尊重)」に「Peace(平和)」を加えた4つを教育理念としています。西南学院の学び舎の中でも理念が「Peace」となっているのが小学校の特徴。児童が平和な世界を希求し、平和を創造できる人になることを強く願っています。

小学校では、平和教育を特別なものではなく、日常的に取り入れており、毎日こなばを通して、平和の源である神様の願いについて考える時間を持っています。また、授業では、「かわいそうなぞう」「あいちゃんのかげおくり」など児童の発達段階に合わせた教材を選んで平和学習を行い、平和な世界が奪われるはどういうことかを考えるなど、自分ごととして想像し、みんなで話し合うようになっています。

**キリスト教に基づく教育で
豊かな心を育みます。**

Life 生命尊重
生命を大切にし、
自分や他者、自然の中の
あらゆる生命を尊重する子ども

Liberty 自由
偏見や固定観念に拘ることなく、
開かれた心をもってやや物事に接し、
真理に対して誠実である子ども

4 SEINAN SPIRIT

Peace 平和
自己と他の人のつながりを大切にし、
平和な世界の実現のために、
真理を求め、光り輝く子ども

Love 人類愛
自分を愛し、人を愛し、
国家や民族、文化の違いを超えて
世界のすべての人を
同じ人間として愛する子ども

平和学習の感想文から

校庭に咲くアンネのバラ
年に数回、小学校の玄関横の花壇には、美しいバラが咲きます。これは「アンネのバラ」といって、ユダヤ人強制収容所で命を落としたアンネ・フランクの父が娘にささげたことから、愛と平和のシンボルといわれている花です。美しい花を見て「アンネの思いを広げたい」と話す児童もいます。

**西南学院舞鶴幼稚園
教会学校**



X1 SUPERリーグ昇格!シーズンスタート記念

西南学院大学で学び、現在は「otonari福岡SUNS」で活躍する卒業生の皆さんに、日本社会人アメリカンフットボールX1 SUPERリーグでプレーする2022年シーズンの意気込みや今後の目標について語っていただきます。皆さんの応援をよろしくお願いいたします!

「九州から日本一」という共通の目標を掲げ 西南学院大学アメリカンフットボール部と切磋琢磨



「otonari福岡SUNS」代表理事兼チーム主将
西南学院大学アメリカンフットボール部
「グリーンドルフィンズ」監督兼ヘッドコーチ
吉野 至さん

Profile

1988年生まれ、関西大学出身。大学3年次に、学生日本一を成し遂げる。「otonari福岡SUNS」代表を務めながら、自身も選手としてプレー。「九州から日本一」の目標を掲げる。

「otonari福岡SUNS」は、2017年に誕生した九州初・唯一のXリーグ所属の社会人アメリカンフットボールチームです。2021年シーズンには、Xリーグの最上位リーグX1 SUPERへの昇格を果たし、2022年秋季リーグ戦からは、日本社会人最高峰の舞台でプレーします。チーム誕生からわずか5年でここまで快挙を成し遂げられたのは、チームのおよそ3分の1を占める西南学院大学アメリカンフットボール部「グリーンドルフィンズ」出身の選手やスタッフの力によるところも大きいです。

福岡SUNSとグリーンドルフィンズは可能な限り、合同で練習を行っています。大学生はお手本となる社会人選手と練習でき、社会人は、大学生には絶対に負けられない。互いに刺激し合いながら、実践的な練習ができます。それぞれの強みを生かし、九州のアメリカンフットボールを盛り上げ、日本一という共通の目標を達成するため、まい進してまいります。応援よろしくお願いします。

選手代表
岩永 悠暉さん
西南学院大学商学部経営学科
2017年卒業

Profile
1994年生まれ。大学在学中はチームを初の全国ベスト4に導く活躍をし、4年次には主将を務める。西南学院大学商学部経営学科を卒業後、福岡SUNSに加入。ポジションはワイドレシーバー、背番号1。強みはチーム愛。

私が大学を卒業するタイミングで「福岡SUNS」が誕生しました。「大学時代に指導を受けてきた吉野代表と共に、九州のアメリカンフットボールを盛り上げていきたい」という思いで、迷わず参加しました。

九州の高校にはアメリカンフットボール部がないので、大学から競技を始める人がほとんどです。そんな背景もあり、西南学院大学アメリカンフットボール部の選手たちはとにかく素直。右も左も分からないところからどんどん知識とスキルを吸収し、お互いライバルでありながらも、チーム内の誰かが良いプレーをするとベンチが盛り上がるような良い雰囲気です。西南学院大学出身の選手が多い影響もあってか「otonari福岡SUNS」もその魅力を備えています。

今季はX1 SUPERでプレーすることになり、周りのチームのレベルも今まで以上に高くなります。タフな戦いとなりますが、九州から日本一という目標を達成するため、チーム一丸となって挑戦していきます。



毎週末、西南学院大学田尻グリーンフィールドで練習を重ねている「otonari福岡SUNS」。練習には、西南学院大学アメリカンフットボール部「グリーンドルフィンズ」の現役選手も参加し、それぞれが日本一を目指し切磋琢磨している

西南学院大学出身のメンバーの皆さんから現役学生へメッセージ	
<p>天本 直輝さん 商業部経営学科 2018年卒業</p> <p>現役学生への一言コメント/ 秋に福岡で試合があります。 熱い学生部魂で頑張りますので 応援よろしくお願ひします。</p>	<p>今村 真也さん 法学部法律学科 2020年卒業</p> <p>現役学生への一言コメント/ かけがえのない大切な時間 を存分に楽しんでください!</p>
<p>岡田 龍馬さん 神学部神学科 2022年卒業</p> <p>現役学生への一言コメント/ Seinan, Be True to Christ"</p>	<p>斎藤 墓さん 商業部経営学科 2018年卒業</p> <p>現役学生への一言コメント/ 何か一つ目標を見つけて、そ の達成のために最後まで努 力し続けてください!</p>
<p>大久保 新さん 人間科学部社会福祉学科 2020年卒業</p> <p>現役学生への一言コメント/ OBや保護者の方の応援、 コーチの指導に恵まれていま す!感謝を忘れずに頑張りま しょう。</p>	<p>城代 慶英さん 経済学部経済学科 2022年卒業</p> <p>現役学生への一言コメント/ 長く短い1年間、一瞬一瞬、ぶ ち上げて最高のキャンパスラ イフ!!!</p>
<p>今村 謙太さん 法学部法律学科 2017年卒業</p> <p>現役学生への一言コメント/ 学生生活、全力で楽しんで!!</p>	<p>長嶋 大樹さん 商業部経営学科 2020年卒業</p> <p>現役学生への一言コメント/ 夢を叶えるため、見つけるため に西南学院大学でさまざまな ことにチャレンジしてください!</p>
<p>森本 祥枝さん 人間科学部児童教育学科 2020年卒業</p> <p>現役学生への一言コメント/ 大切なこともありますかと思いま すが、仲間と一緒に目標に向 かって頑張ってください!応 援しています!</p>	<p>伊藤 崇人さん 商業部経営学科 2020年卒業</p> <p>現役学生への一言コメント/ 貴重な学生生活を楽しんで ください!</p>
<p>安陪 早紀さん 国際文化学部国際文化学科 2014年卒業</p> <p>現役学生への一言コメント/ 限られる学生生活を全力で 楽しんでください!!</p>	<p>江口里 寛也さん 人間科学部児童教育学科 2015年卒業</p> <p>現役学生への一言コメント/ 学生時代はきついこの方 が多いけれど必ずその先に は何ものにも代え難い達成 感があります!頑張れ!</p>
<p>小野 洋輔さん 商業部経営学科 2018年卒業</p> <p>現役学生への一言コメント/ 学生時代はきついこの方 が多いけれど必ずその先に は何ものにも代え難い達成 感があります!頑張れ!</p>	<p>黒土 劍太さん 法学部法律学科 2019年卒業</p> <p>現役学生への一言コメント/ 大学卒業後に悔いが残ら ないようにさまざまなことにチャ レンジしてください。</p>



マスク着用に対する方針はさまざま

一野上 小学校の方針として、春までは、原則、屋内ではマスクを着用し、外すのは食事中のみとしていました。ただ、夏場は熱中症対策も必要ですから、休み時間の運動中と体育の時間も外すように指導しています。

一山口 幼稚園では、園児がマスクを着用することの影響や、各ご家庭の方針も尊重し、「必ずしも着けなくてよい」ということにしていて、8~9割の園児はマスクを着けていません。着けていると鼻水やヨダレで汚してしまう園児もいるので、時々確認してあげて場合によっては替えることもあります。

一野上 小学校もさまざまな保育園や幼稚園から入学してくるので、1年生の中にはマスクに慣れている児童もいればそうでない児童もいますね。まず入学当初は、マスクを着けることは自分や大切な友だちを守ることにもつながると伝えて「お鼻までしっかりと守る」と指導することから始めます。2年生になると子ども同士で「マスクがずれているよ」と声を掛け合うようになります。

一山口 幼稚園では年長児でもなかなか上手に使用や管理ができないのですが、小学生になるとそんなにも成長が見られるんですね。

一野上 動く機会が多い幼稚園に比べると、

学びの現場から

西南学院の大学・各学校・園・保育所では、学生、生徒、児童、園児の成長のために教職員が一丸となり、より良い教育を目指して日々さまざまな取り組みを行っています。



西南学院小学校／教諭
のぐみ さゆり
野上 小百合

西南学院舞鶴幼稚園／主任教諭
やまぐち みゆき
山口 美幸

マスクを着けているので、子どもたちには私たちの表情が見えないんです。本来は家族以外で接する大人の表情を見せて安心感を抱かせたいのですが、そこがなかなか難しいですね。

一野上 笑顔やうれしい表情を見る効果は、思いの外大きいですね。私たち教職員も、児童の目からたくさん情報を得ようとするもの、そう簡単にはいかないこともあります。給食中の会話も禁止なので、コミュニケーションの量も圧倒的に減ってしまい、子どもたち同士も表情が見えないため、お互いの気持ちをくみ取るのが難しい。だから「何をしてもらってうれしいと思った気持ちや感謝は、言葉で伝えよう」と指導しています。

一山口 幼稚園では、先生が話しかけているのにマスクで口が隠れているから園児たちが気付かないということもあります。だから、私たちもできるだけ言葉にして、さらに身ぶり手ぶりを加えて伝えるようにしています。



マスクで表情が見えない分、これまで以上にスキンシップを大切にしながら保育を行なう西南学院舞鶴幼稚園

小学校では授業で座っておくことが増えるので、マスクがずれにくく、指導がしやすいというのもあるかもしれません。

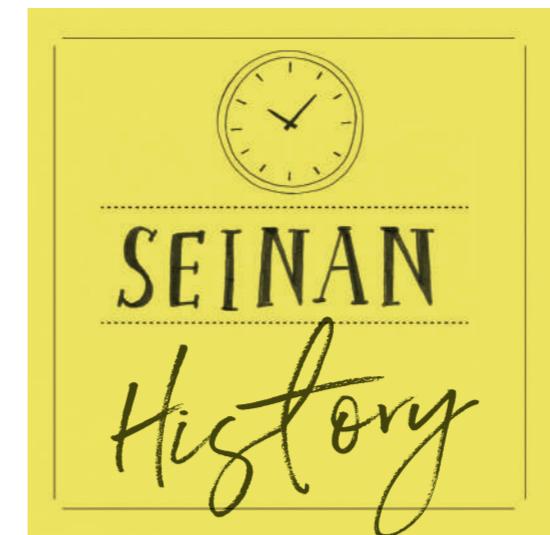
子どもたちの健やかな成長を願って

一野上 「子どもたちにとって、マスクは良いのか、悪いのか」という議論は、教育現場でたびたび行われます。幼稚園では、園児たちの着用義務はないとのことです、教職員はマスクを着けているんですか。

一山口 そうなんです。教職員はマスクを着用していますが、外で遊ぶ時や体を動かす活動の時などは外すこともあります。お弁当の時や、またごとで食べるまねをする時もマスクを外しますね。しかし、基本的には常に



小学校ではマスクの着用を基本とし、鼻までしっかりとカバー



西南学院History

【第5回／戦争】

100年以上の歴史を誇る西南学院には、後世に伝えるべき歴史やストーリーがたくさんあります。このコーナーでは西南学院にまつわる歴史を紹介していきます。



校内の狭窄射撃場での訓練(1934年)

西

南学院百年館の企画展示室では、学院の建物の設計図や記録写真から西南学院の100年の歴史をたどる「西南学院と建物」展を開催しています。

そこでは1940年代の校舎配置図に、校舎や施設の写真を掲載した校舎マップを展示しています。当時、学内には軍国主義教育を象徴する施設がありました。今回は戦時下の学院を振り返り、西南学院と戦争について考えます。

軍事教練

1925年4月、陸軍現役将校学校配属令が公布されました。各校では軍事教練(学校教練)が課され、校長の権限が及ばない陸軍の将校が学校に配置されるようになりました。同年7月、中学部に最初の配属将校が就任し、学院で軍事教練が始まりました(写真1)。1934年7月、学院は院長名で福岡県知事宛てに「狭窄射撃場設置願」を提出しました。狭窄射撃場(写真2)は、同年10月に完成し、11月に使用許可が下りました。中学部の寮であった百道寮の裏(現・西南学院百年館北側付近)に、幅12m、高さ3mの射撃場を設置したこと、校内での本格的かつ実質的な軍事教練が可能となりました。



校内運動場における軍事教練査問(1934年)

御真影奉戴

文部省の政策により、1935年以降、公立のみならず全国の私立学校においても「御真影」(天皇・皇后の肖像)を奉戴し、挙式することが強制されるようになりました。1937年4月22日、学院に御真影が到着し、学院本館の講堂(現・大学博物館2階講堂)で挙式式が挙行されました(写真3)。紀元節などの式典の際には、教職員・生徒全員で御真影に対して最敬礼^{※1}をし、校長が読む教育勅語をきました。御真影を奉戴するためには、定められた奉安所の設置が義務付けられていました。奉安所には御真影と教育勅語が収められました。学院の奉安所は、最初は学院本館1階の院長室の中にあり、入口扉の上には大きな菊の紋章が付けられていました(写真4)。その後、校門の東側松林中に伊勢神宮と同じ神明造りで独立し

た建物の奉安殿が建築されました。

「皇紀二千六百年」行事

1940年は、皇紀2600年^{※2}にあたり、全国各地でさまざまな行事が行われました。学院も例外ではなく、戦争への意識高揚が図られました。この年の11月10日には、政府主催の「紀元二千六百年式典並びに奉祝会」が皇居前広場において開催され、学院から水町義夫院長が参加しました。同じ日に学院では中学部運動場で「皇紀二千六百年を寿ぐ西南学院の奉祝式」を行っています。さらに学院は記念事業の一環で、学院本館(現・大学博物館)の北側に面した藤棚のそばに御影石製の国旗掲揚台を設置しました(写真5)。その正面には「皇

紀二千六百年記念」、裏面には「昭和十五年十月三十日、西南学院中等部、同商業学校」と記されています(写真6)。この石碑は、1983年に高等学校本館建設に伴い、野球場のバックネット横(現・大学東キャンバス北側)に移設され、中高の百道浜校地移転後、2010年に撤去・処分されました。

西南学院は、創立100周年を記念するに際して、自らの戦争責任・戦後責任を「平和宣言」として公表しました。次の100年に向けて歩み出した今、学院の苦難の歴史を見つめ、次の世代に記憶をつなげていくことが求められています。

^{※1} 直立不動の姿勢を取り、手を膝まで下げ、上半身を腰のところで折り曲げる腰上の敬礼。
^{※2} 「皇紀」とは、記紀(古事記)と日本書紀に基づいた紀元前で、神武天皇が即位したとされる西暦紀元前660年をその起源としている。



学院に到着した御真影(中央は水町義夫院長、1937年4月22日)



校内の国旗掲揚台(写真左手前、昭和30年代)



国旗掲揚台(正面に「皇紀二千六百年記念」、1989年頃撮影)

「西南学院と建物」展は百年館1階企画展示室で開催しています。本展会期中に、ここで紹介した院長室の奉安所に設置されていた菊の紋章を1階エントランスホールで展示しています。ぜひご来場ください。2022年12月20日まで。開館情報は西南学院百年館ホームページをご確認ください。

SEINAN GAKUIN information

～西南学院からのお知らせ～

2022年度
西南学院大学博物館企画展II
やさしいキリスト教展シリーズI
「キリスト教美術をみとく
一キリスト・聖母・聖人」

世界で最も多くの人が信仰しているとされるキリスト教。しかしキリスト教の文化や芸術は、教派や地域によってさまざまです。やさしいキリスト教展シリーズは、古今東西、キリスト教に関する事柄や分野を、博物館のコレクションとともに分かりやすく「みとく(見解く・味得)」企画展です。



会 場:西南学院大学博物館
1階特別展示室
期:2022年9月19日(月・祝)~
2023年1月14日(土)
休 館:日曜日、
2022年12月28日(水)~
2023年1月5日(木)

入館料:無料
【お問い合わせ】
西南学院大学博物館 博物館事務室
TEL:092-823-4785

西南学院大学新体育馆・ プール棟(仮称)の 建設について

西南学院大学新体育馆・プール棟(仮称)は、現在の大学西新グラウンド(西キャンパス)に、地上3階(体育馆)の規模で2023年6月に竣工予定です。

本学は、教育研究環境の一層の充実を図るとともに、環境面や防災面における拠点として、地域社会と共生してまいります。引き続き、ご支援くださいますようお願い申し上げます。



新体育馆(仮称)内観
※本ベースはイメージであり今後変更の可能性があります。

メールマガジン 「西南学院Letter」に ご登録ください!

メールマガジン『西南学院Letter』は、西南学院のNEWSやイベント情報などをおよそ月に2回の頻度でお届けいたします。

ぜひ
ご登録ください



※携帯電話のメールアドレスをご登録の場合は、ドメイン名「seinan-gu.ac.jp」からのメールを受信可能な状態に、設定をお願いいたします。

【発行】
総合企画部 広報・校友課
TEL:092-823-3248
E-mail:koho@seinan-gu.ac.jp

部活動、躍進!

●西南学院高等学校 硬式野球部

西南学院高等学校硬式野球部が、2022年7月に行われた全国高等学校野球選手権福岡大会(夏の甲子園予選)でベスト16の好成績を収めました!県大会への出場は40年ぶり。野球部の皆さんの健闘を心からたたえます!



●西南学院大学 競技ダンス部

2022年7月10日(日)に行われた第61回全日本学生選抜競技ダンス選手権大会にて、本学の別當・平井組が、ラテンの部で見事全国チャンピオンとなりました。おめでとうございます!



西南学院大学サポーターズ募金ご協力のお願い

2018年4月から開始した西南学院大学サポーターズ募金では、寄付者のご意向に沿った目的に使用するために使途をお選びいただけます。
皆さまのお気持ちが本学のさまざまな活動の大きな支えになりますので、ご協力ををお願いいたします。

〈選べる使途の種類〉

1

大学給付
奨学金

2

教育・研究
活動支援

3

スポーツ・文化
活動支援

4

グローバル人材
育成支援

5

ボランティア
活動支援

6

新体育馆・プール棟
(仮称)
建設支援

寄付者銘板のご紹介

ご寄付をいただいた個人様、団体様、法人様のご芳名を刻銘した銘板を、西南学院百年館(松緑館)の1階に設置し、末永く顕彰いたします。

銘板掲載対象

【個人】5万円以上
【団体】10万円以上
【法人】50万円以上
の寄付をいただいた方



西南学院大学サポーターズ募金に 関するお問い合わせ

西南学院 総合企画部 広報・校友課
TEL:092-823-3248 FAX:092-823-3249
E-mail:kogyo@seinan-gu.ac.jp
西南学院大学サポーターズ募金
ホームページはこちら▶▶▶



SEINAN TOPICS

大学・各学校・園・保育所の近況

西南学院早翠子供の園(保育所)

西南学院舞鶴幼稚園

西南学院小学校

こどもまつりで

楽しい夏の思い出づくり

7月8日のこどもまつりでは、今年も年中・年長児が制作した色とりどりのおみこしを、力強く担ぎました。年少児は手作りうちわをあおいで応援し、乳児クラス(0~2歳児)の園児もお手伝いの学生さんや職員と共に「ワッショイワッショイ」と拍手や声援を送りました。浴衣や甚平を着て、夏ならではの楽しいひとときでした。



創造性豊かな手作りおみこし

年長児(光組)の合宿保育で

花火やキャンプファイアを体験

日々「まだ遊びたい!」と言う子どもたちと相談しながら企画した合宿保育。事前にお風呂係や食事係など、自分たちでできることを考え、少しづつ準備を進めてきました。今宿野外活動センターでの川遊び、流しうめんやスイカ割り、枕投げや布団遊びなど、1泊2日を全力で楽しみました。



夜は、みんなで一緒に花火を体験

1・2年生が

仲良く田植え体験

6月1日、糸島市で1・2年生が生活科の学習で田植えに挑戦しました。最初は、足を取られてうまく動けなかった児童も、慣れてくると水と泥の感触を楽しみながら苗を植えることができました。ペアの1年生を見守りながら頑張る2年生、寄り添ってもらっている1年生の姿が印象的で、初夏の糸島で思い出深い経験ができました。



田んぼ初体験!「ぬるぬるして気持ち良い!」

西南学院中学校・高等学校

中学生、高校生共に先輩の姿から学ぶ

中学生を対象として、進路学習の一環である「先輩の話を聴こう会」が行われました。先輩である高校生が、中学校3年間で学んだことを講師として話してくれる会です。授業の受け方、有効な勉強法などの学習面や、時間の使い方やSNSとの付き合い方などの生活面について、参考になることばかりでとても学びの多い時間になりました。



どちらも真剣に話を聞き、熱心にメモを取ったり、質問をしたりして実りある時を過ごした

高校2年生を対象とした進路講演会を行いました。この会では、大学生それぞれが高校時代をいかに過ごし、大学で何を学んでいるのか、高校時代の経験がどのように大学につながっているのかなどについて話してもらいます。現役の大学生だからこそ語れる臨場感ある話に、高校生たちは自らの将来を重ねながら、真剣に耳を傾けていました。



読書教養講座を開催 ～村田沙耶香氏が講演～

7月15日、芥川賞受賞作家の村田沙耶香氏を講師に迎え、「作者を超えていく物語」というテーマで読書教養講座を開催しました。「小説を書くときは、何となく水槽をイメージして書いています。その水槽の中で起きた科学変化をもとに、出来上がった物語ができるだけ誠実に書き上げています」と、小説を書く上で意識することなどが語られました。



大学チャペルで講演する村田氏

学生と共に目標を掲げ 達成を目指す青春の日々

2020年から西南学院大学体育会サッカー部の監督を務め、学生と共にフットボールに没頭しています。目標は、九州で最も応援されるクラブになること。学生たちには、フットボールを通じて人生をより豊かにする学びを得てほしいと願っています。青春とは人生の一時期ではなく、心の在り方だと捉え、今も学生たちと青春しています!



西南学院大学
人間科学部心理学科
准教授 繁木 智彦



大切なことに打ち込み、目標達成のために努力を積み重ねられる環境は、何よりの宝物。私自身も日々アップデートされています

忍耐強く挑戦する強さや、仲間と共に対話し、問題を解決する過程は、人生で役立つ学びに